

機密

參○部丙第六號

世界情勢ノ推移ニ伴フ時局處理要綱

昭和十五年七月

大本營陸軍部
大本營海軍部

方針

帝國ハ世界情勢ノ變局ニ對處シ内外ノ情勢

ヲ改善シ速ニ支那事變ノ解決ヲ促進スルト共ニ

好機ヲ捕捉シ對南方問題ヲ解決ス

1

0924

支那事變ノ處理未ダ終ラザル場合ニ於テ對南方施策ヲ重點トスル態勢轉換ニ關シテハ内外諸般ノ情勢ヲ考慮シ之ヲ定ム

右二項ニ對處スル各般ノ準備ハ極力之ヲ促進ス

要領

第一條 支那事變處理ニ關シテハ政戰兩略

ノ綜合カヲ之ニ集中シ特ニ第三國ノ援蔣行
爲ヲ絶滅スル等凡ユル手段ヲ盡シテ速ニ重
慶政權ノ屈伏ヲ策ス

對南方施策ニ關シテハ情勢ノ變轉ヲ利用
シ好機ヲ捕捉シ之カ推進ニ努ム

第二條 對外施策ニ關シテハ支那事變處

理ヲ推進スルト共ニ對南方問題ノ解決ヲ目途
トシ概ネ左記ニ依ル

一先ヅ對獨伊蘇施策ヲ重點トシ特ニ速ニ獨
伊トノ政治的結束ヲ強化シ對蘇國交ノ飛
躍的調整ヲ圖ル

ニ米國ニ對シテハ公正ナル主張ト儼然タル態度ヲ

持シ帝國ノ必要トスル施策遂行ニ伴フ已ム
ヲ得ザル自然的惡化ハ敢テ之ヲ辭セザルモ
常ニ其動向ニ留意シ我ヨリ求メテ摩擦ヲ
多カラシムルハ之ヲ避クル如ク施策ス

三 佛印及香港等ニ對シテハ左記ニ依ル

① 佛印（廣州灣ヲ含ム）ニ對シテハ援蔣行為

遮斷ノ徹底ヲ期スルト共ニ速ニ我軍ノ補
給擔任、軍隊通過及飛行場使用等ヲ容
認セシメ且帝國ノ必要ナル資源ノ獲得ニ
努ム

情況ニヨリ武力ヲ行使スルコトアリ

(四) 香港ニ對シテハ「ビルマ」ニ於ケル援蔣ルート

ノ徹底的遮斷ト相俟キ先ヅ速ニ敵性ヲ
芟除スル如ク強力ニ諸工作ヲ推進ス

(ハ) 租界ニ對シテハ先ヅ敵性ノ芟除及交戦國
軍隊ノ撤退ヲ圖ルト共ニ逐次支那側ヲシ
テ之ヲ回收セシムル如ク誘導ス

(ニ) 前二項ノ施策ニ當リ武力ヲ行使スルハ第

三條ニ據ル

④ 蘭印ニ對シテハ暫ク外交的措置ニ依リ其重要資源確保ニ努ム

五 南太平洋上ニ於ケル舊獨領及佛領島嶼ハ國防上ノ重大性ニ鑑ミ爲シ得レバ外交的措置ニ依リ我領有ニ歸スル如ク處理ス

⑥ 南方ニ於ケル其他ノ諸邦ニ對シテハ努メテ
友好的措置ニヨリ我工作ニ同調セシムル如
ク施策ス

第三條 對南方武力行使ニ關シテハ左記ニ
準據ス

一 支那事變處理概ネ終了セル場合ニ於テ

ハ對南方問題解決ノ爲内外諸般ノ情
勢之ヲ許マ限リ好機ヲ捕捉シ武力ヲ行
使ス

②

支那事變ノ處理未ダ終ラサル場合ニ於テ
ハ第三國ト開戦ニ至ラザル限度ニ於テ施
策スルモ内外諸般ノ情勢特ニ有利ニ進

展スルニ至ラハ對南方問題解決ノ爲武

カヲ行使スルコトアリ

③ 前二項武力行使ノ時期、範圍、方法等ニ

關シテハ情勢ニ應ジ之ヲ決定ス

④ 武力行使ニ當リテハ戰爭對手ヲ極力英國

ノミニ局限スルニ努ム

但シ此ハ場合ニ於テモ對米開戦ハ之ヲ避ケ
得ザルコトアルベキヲ以テ之ガ準備ニ遺憾ナ
キヲ期ス

第四條 國內指導ニ關シテハ以上ノ諸施策
ヲ實行スルニ必要ナル如ク諸般ノ態勢ヲ誘
導整備シツツ新世界情勢ニ基ク國防國家

ノ完成ヲ促進ス

之が爲特ニ左ノ諸件ノ實現ヲ期ス

一 強力政治ノ實行

二 總動員法ノ廣汎ナル發動

三 戦時經濟態勢ノ確立

四 戦争資材ノ集積及船腹ノ擴充

6.10

3475
3105

314

(線上輸入及特別輸入最大限實施並
消
費規正)

五 生産擴充及軍備充實ノ調整

六 國民精神ノ昂揚及國內輿論ノ統一